

募集要項 音楽専攻

音楽専攻では、本専攻の教育理念を十分に理解し、その表現に必要な基礎的学力と知識、さらに専修領域の演奏能力(*)を有し、勉学の意欲にあふれる学生を募集します。*演奏能力については、個人レッスンによるものだけでなく、高校までの吹奏楽や合唱などのクラブ活動、あるいは地域社会での音楽活動を通じて培った技量や音楽経験も同様に重視します。以下に音楽専攻の3つの方針を示します。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

- ① 専門実技、音楽理論においての知識と基礎的な理解力を有する者。(知識・理解)
- ② 楽典、ソルフェージュ、和声理論などを体系的に学習し、積極的に学ぶ意欲をもっている者。(思考・判断)
- ③ 音楽のみならず芸術一般に幅広い関心を持ち、入学後の勉学について明確な志向と熱意を有する者。(関心・意欲)
- ④ 他者と集団での創造活動をするための協調性があり、専門実技、アンサンブルなどに積極的に参加できる者。(態度)
- ⑤ プロフェッショナルな音楽家を目指し、その技能習得に要する基礎的な演奏技術と表現能力がある者。(技能・表現)

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

芸術科音楽専攻は、幅広い教養と高度な専門性を兼ね備えた演奏家、指導者の育成と研究を目的とし、音楽芸術における演奏技術、表現の基本を体得することを目的としている。そのため、以下の三項目を軸として2年間の教育課程を組み、具体化していく。

- ① 楽譜を読み取る力/音楽理論、ソルフェージュ、音楽史などの基本を習得し、楽譜に書かれていることを正確に読み取る力を養う。
- ② 演奏表現/個人レッスンを中心に、基礎的な演奏技術、表現力を身に付けるための実践的な力を養う。
- ③ アンサンブル/古典から近代までクラシックを中心とした楽曲を学び、基礎的なアンサンブル能力を獲得する。

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)で求める学習成果

専門的学習成果

- ① 専門実技、音楽理論、ソルフェージュなどの演奏表現に必要な基礎を学び、知識を活用して作品の理解を深めることができる。(知識・理解)
- ② 自ら課題を設定し、演奏表現の向上に向けて多面的に考察し、判断していくことができる。(思考・判断)
- ③ 社会における自分の存在意義、自己表現の意味を自覚して、積極的に創造活動を行うことができる。(関心・意欲)
- ④ 自らの音楽的な知識、経験をもって社会におけるニーズに応えることができる。(態度)
- ⑤ 演奏家、指導者としての基礎的な演奏技術と表現能力をもち、自分の想像した表現を実現することができる。(技能・表現)

汎用的学習成果

- ① 芸術文化を歴史・社会・自然と関連づけて理解することができる。(知識・理解)
- ② 自ら課題を設定し、必要な情報を収集・分析し、問題を解決することができる。(思考・判断)
- ③ 芸術文化に幅広く関心を持ち、新たな創造的表現を実現する意欲に高めることができる。(関心・意欲)
- ④ 多様な価値観を理解し、地域社会および国際社会のニーズに応え、活力ある社会の構築に努めることができる。(態度)
- ⑤ 日本語と外国語を用いて、他者の発言や文章を理解し、自らの考えを的確に表明することができる。(技能・表現)

1 募集・日程

音楽専攻が独自の基準で決定した指定校の高等学校長に推薦された方が出願できる指定校推薦制度を設けています。指定校は原則として毎年見直しを行なっていますが、指定校に選定されているかどうかは、高校の進路指導部等で確認してください。

募集人数	計50名					
	30名		10名	10名		
種別	総合型A	総合型B	社会人	学校推薦型	一般A	一般B
試験科目	面接・書類審査	主科実技・面接	主科実技・面接	主科実技・面接	主科実技・楽典・聴音	主科実技・聴音
主科実技	ピアノ、声楽、管楽器(フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォン・トランペット・トロンボーン・テューバ・ホルン・ユーフォonium) 弦楽器(ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス)、ギター、日本音楽(箏・三味線・琵琶・尺八・笛・囃子)					
時間割等	受験者数確定後に試験開始時間を決定します。時間割は入試種別・主科実技ごとに異なります。詳細は本学から発送する受験票に記載します。					

種別	総合型A				総合型B			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	
出願期間	郵送受付	10月1日(水)～10月10日(金) 必着	11月25日(火)～12月5日(金) 必着	1月13日(火)～1月23日(金) 必着	2月16日(月)～2月27日(金) 必着	11月4日(火)～11月10日(月) 必着	1月13日(火)～1月23日(金) 必着	2月16日(月)～2月27日(金) 必着
	窓口受付	10月10日(金)～10月13日(月)	12月8日(月)～12月9日(火)	1月23日(金)～1月26日(月)	3月2日(月)～3月3日(火)	11月10日(月)～11月11日(火)	1月23日(金)～1月26日(月)	3月2日(月)～3月3日(火)
試験日	10月25日(土)	12月20日(土)	2月8日(日)	3月20日(金)	11月23日(日)	2月8日(日)	3月20日(金)	
合格発表日	11月4日(火)	12月22日(月)	2月9日(月)	3月23日(月)	12月1日(月)	2月9日(月)	3月23日(月)	
入学手続締切日	11月21日(金)	1月9日(金)	2月20日(金) 必着	3月31日(火) 必着	12月12日(金) 必着	2月20日(金) 必着	3月31日(火) 必着	

種別	学校推薦型	一般		社会人			
		A	B	I期	II期	III期	
出願期間	郵送受付	11月4日(火)～11月10日(月) 必着	1月13日(火)～1月23日(金) 必着	2月16日(月)～2月27日(金) 必着	11月4日(火)～11月10日(月) 必着	1月13日(火)～1月23日(金) 必着	2月16日(月)～2月27日(金) 必着
	窓口受付	11月10日(月)～11月11日(火)	1月23日(金)～1月26日(月)	3月2日(月)～3月3日(火)	11月10日(月)～11月11日(火)	1月23日(金)～1月26日(月)	3月2日(月)～3月3日(火)
試験日	11月23日(日)	2月8日(日)	3月20日(金)	11月23日(日)	2月8日(日)	3月20日(金)	
合格発表日	12月1日(月)	2月9日(月)	3月23日(月)	12月1日(月)	2月9日(月)	3月23日(月)	
入学手続締切日	12月12日(金) 必着	2月20日(金) 必着	3月31日(火) 必着	12月12日(金) 必着	2月20日(金) 必着	3月31日(火) 必着	

※窓口受付時間9:00～15:00

2 出願資格等

入試合格者には、入学前までに知っておいていただきたい「楽典」の内容をテキストにまとめ、配布いたします。テキストの中にあります練習問題は通信教育のかたちで学校に送っていただけますと、添削してお返しいたします。また、オープンキャンパスで実施の「初心者のためのソルフェージュ講座」や冬期講習会で行う楽典、聴音・ソルフェージュの授業も無料受講が可能です。詳細については、入学手続き書類と共にご案内する予定です。

総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜

(1) 出願資格

次のいずれかの条件を満たす者。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - a. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - b. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
 - c. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であり、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
 - d. 文部科学大臣の指定した者
 - e. 高等学校卒業程度認定試験に合格した者および2026年3月までに合格見込みの者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)
 - f. 個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年3月までに18歳に達する者

※総合型選抜・学校推薦型選抜においては、上記の出願資格に加え、各選抜で定める出願要件をすべて満たす者。

総合型選抜A

- ① 本学芸術科音楽専攻のみを志願し、音楽専攻アドミッション・ポリシーのすべての項目に該当する者。
- ② 2025年度オープンキャンパスで行われる「初心者のためのソルフェージュ講座」「実技診断」に各1回以上参加し、音楽専攻の教育内容を十分に理解した者。
*上記講座・実技診断は、夏期・冬期講習会で行われる「実技模擬試験」「聴音・ソルフェージュ授業」や、「オンラインレッスン」「Webオープンキャンパスのソルフェージュ講座」で代えることも可能です。また、個別対応も行います。詳しくは教学課入試係までお問い合わせください。

総合型選抜B

- ① 本学芸術科音楽専攻のみを志願し、音楽専攻アドミッション・ポリシーのすべての項目に該当する者。
- ② 出身校の担任・部活動顧問、校外活動や習い事の指導者等の推薦する者または自己推薦する者。

学校推薦型選抜

- ① 本学芸術科音楽専攻のみを志願し、学業・人物ともに優秀で入学後の勉学について明確な志向と熱意を持つ者。
- ② 出身高等学校長の推薦する者。

社会人選抜

趣旨

本来音楽は、学びたいときにいつでも学ぶ機会が与えられていることが望ましいものです。しかし、従来の入学試験制度では、高等学校卒業後一定の年限を経た者や、一般大学卒業者が音楽大学に進学することにはかなりの困難が伴いました。本入試制度は、生涯教育の一環として、勉学意欲ある社会人を一般選抜とは別の試験によって受け入れ、広く音楽の理論と実技を学ぶ機会を提供するものです。

(1) 出願資格

次のどちらかの条件を満たしている者。

- ① 高等学校卒業後4年以上経過した者(2022年3月以前に卒業の者)。
- ② 文部科学省令による大学入学資格を有し、2026年4月1日時点で、満22歳以上の者(2004年4月1日以前に生まれた者)。
*ただし、I期入試については、本学芸術科音楽専攻のみを志願する者とします。

(2) その他

- ① 授業は昼間に行われます。
- ② 入学後は、一般選抜等による入学者と同じカリキュラム、学則等が適用されます。

社会人選抜の出願資格を満たす方でも、総合型選抜Aの受験が可能です。各入試とも試験方法や出願資格が異なりますので、ご自身に合った入試種別をご選択ください。

3 出願書類

下記に掲げる出願書類に必要事項をもれなく記入し、本要項巻末の封筒を使用して、出願期間内に郵送必着または持参してください。

	総合型A	総合型A(社会人)	総合型B	学校推薦型	一般	社会人
1 願書 (A票)	●	●	●	●	●	●
2 副票 (B票)	●	●	●	●	●	●
3 調査書(出身高等学校長作成のもの)もしくは高等学校卒業程度認定試験合格証明書 および 成績証明書	●		●	●	●	
4 高等学校の卒業証明書 もしくは 高等学校卒業程度認定試験合格証明書		●				●
5 レポート記入票	●	●				
6 高等学校長による推薦書				●		
7 推薦書 もしくは 受験生本人による自己推薦書			●			
8 社会人入学志望理由書		●				●
9 実技試験伴奏譜 ※声楽・管楽器・弦楽器志願者のみ			●	●	●	●

4 出願書類記入上の注意

書類共通

- ①油性ボールペンを使用し、楷書、算用数字で記入してください(フリクション等の、こすると消えるボールペンの使用は不可)。
- ②調査書、推薦書を除く全ての出願書類は、受験生本人が自筆で記入してください。
- ③出願後の書類記載事項の変更は認めません。

願書・副票等

- ①音楽専攻の願書を使用してください。
- ②連絡先の記入欄には、固定電話、携帯電話、FAX、メールアドレス等の連絡先を記入してください。
※出願内容に不備があった場合や、天候等のやむを得ない事情により試験時間を変更する場合等に使用します。
- ③出身高等学校等のコードは、26ページ以降の一覧表を確認して記入してください。
該当する出身学校のコードが掲載されていない場合は、出身学校の所在する都道府県の末尾にある「上記以外の高等学校等」のコードを記入してください。
- ④保証人は、原則として保護者とします。配偶者でも構いません。緊急時の連絡先として使用します。
- ⑤B票に貼付する写真の裏面には、必ず氏名を記入してください。

調査書

- ①願書と調査書の氏名が異なる場合、その理由(婚姻により等)を出願書類に添付してください。書式は自由です。
- ②調査書は、試験日までの3か月以内に証明されたものを提出してください。
- ③社会人選抜志願者および総合型選抜志願者で社会人選抜の出願資格(13ページ)を満たす者は、高等学校の卒業証明書のみを提出してください。
(調査書は不要)
- ④高等学校卒業程度認定試験合格者は、合格証明書および成績証明書を提出してください。

その他

- ①総合型選抜A出願書類「レポート記入票」は、表面1枚に収めてください(別紙添付不可)。
- ②総合型選抜B出願書類「自己推薦書」は、本学所定用紙に受験生本人が自筆で記入し、必ず押印してください。
- ③社会人選抜の出願資格(13ページ)を満たす者は、本学所定の「社会人入学志望理由書」に自筆で記入し、必ず押印してください。
- ④声楽・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォントランペット・トロンボーン・チューバ・ホルン・ユーフォニウム・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスの志願者で、伴奏付きの曲を演奏する方は、実技試験の伴奏譜を同封してください。
- ⑤いったん受理した出願書類は、どのような事情があっても返却しません。

5 入学試験検定料

総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜・社会人選抜

35,000円 全入試同一金額です。

入学願書(A～D票)記入後、検定料を最寄りの銀行から振り込んでください。銀行保存となるD票と、領収書として志願者が保存するC票を除く、A・B票が出願書類となります。B票には取扱銀行の収納印がないと無効ですので、銀行から受け取る際に確認してください。

ATM・ネットバンキング等から検定料をお振り込みの場合は、振込人名義に整理番号(9)と志願者氏名をご入力ください(例:9キリトモ)。また、ATM振込受付票・ネットバンキング振込明細表等、振込内容が確認できる資料をご提出ください。※ATM等をご利用の場合は銀行の収納印は不要です。

なお、いったん受領した検定料は、どのような事情があっても返金できません。

■ 検定料割引制度について

同一年度内の本学への出願の際、2回目以降の検定料は一律20,000円となります。また、一般選抜で演劇専攻と併願して受験する場合の2専攻目の検定料、または一般選抜(A・B)、社会人選抜(Ⅱ期・Ⅲ期)で桐朋学園大学音楽学部を併願する場合の検定料が20,000円となります。該当者には別途振込用紙をお送りしますので、教学課入試係までご連絡ください。

※桐朋学園大学音楽学部との併願をされる方は、音楽学部の入学試験検定料領収書のコピーをご提出ください。

6 受験上の注意

入試全般

- ①時間割は受験票にてお知らせします。受験票が試験日の3日前になっても到着しない場合は、教学課入試係までお問い合わせください。
- ②受験に関する必要な事項は、本学ロビー内に掲示しますので、その指示に従って行動してください。
- ③受験票は試験期間中必ず持参し、係に求められた際には提示してください。受験票を持参していない場合は試験場に入場できません。
- ④所定の時間に遅刻した場合は必ず係に申し出て、その指示に従ってください。
- ⑤試験の際は係の指示に従ってください。その指示に従わない場合は受験資格を失うことがあります。
- ⑥指定された試験場、控室、トイレのほかは、みだりに校舎内外を歩くことはできません。また、キャンパス内は禁煙です。
- ⑦付き添いの方は試験場に入場できません。指定された教室等を控室としてご利用ください。
- ⑧遅刻および登校途中の事故等の場合は、直ちに教学課入試係に連絡してください。 緊急時の連絡先 03-3300-4252(教学課入試係)

試験等に関すること

(1)実技科目について

①声楽主科

ア. 課題曲 次の中から1曲選択

F. Gasparini : Caro iaccio	A. Scarlatti : Se tu della mia morte	A. Caldara : Sebben, Crudele
F. Gasparini : Lasciar d'amarti	A. Scarlatti : Son tutta duolo	S. Rosa : Star vicino
A. Scarlatti : Sento nel core	F. Durante : Vergin, tutto amor	G. Giordani : Caro mio ben
G. B. Bononcini : Per la gloria d'adorarvi		

イ. 自由曲 任意の1曲(「ア.課題曲」の中から選んでもかまいません)

調は自由、ただしアリア(オペラ、オラトリオ)は原調とします。また、演奏は原語、暗譜とします。

②器楽主科

ピアノ/フルート/オーボエ/クラリネット/ファゴット/サクソフォン/トランペット/トロンボーン/チューバ/ホルン/ユーフォニウム/ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス/ギター

(a) ピアノ

次の作曲家の作品の中から繰り返しは省き暗譜で演奏すること。数曲の組み合わせも可。
多楽章の場合は任意の楽章(8分以上の場合、演奏をカットすることもあります)。
Haydn, Mozart, Beethoven, Brahms, Schumann, Chopin, Schubert, Liszt.

(b)フルート (c)オーボエ (d)クラリネット (e)ファゴット (f)サクソフォン
(g)トランペット (h)トロンボーン (i)チューバ (j)ホルン (k)ユーフォニウム

フルート/オーボエ/クラリネット/ファゴット/サクソフォン/トランペット/トロンボーン/チューバ/ホルン/ユーフォニウム 共通

ア. 長・短各調の音階。調性およびスラーの有無は試験当日(オンライン受験の場合はエントリー後)に指定します。

イ. 任意の1曲(暗譜でなくても可)

(l)ヴァイオリン (m)ヴィオラ (n)チェロ (o)コントラバス (p)ギター

ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス/ギター 共通

任意の1曲(暗譜で演奏すること。繰り返しは省き、多楽章の場合は任意の楽章)

③日本音楽主科 箏、三味線、琵琶、尺八、笛、囃子(小鼓または締太鼓)

(q)箏 (r)三味線 (s)琵琶 (t)尺八 (u)笛 (v)囃子(小鼓または締太鼓)

箏/三味線/琵琶/尺八/笛/囃子 共通

任意の1曲(暗譜で演奏すること)

(2)聴音について

簡易な旋律聴音2題

(3)その他

- ①楽典・聴音の各試験の際には、点呼開始時間までに所定の試験場に入り、指定された座席に着き、係の指示を待ってください。
- ②実技試験の前に5分間の練習時間があります。
- ③試験当日は、各自の楽器を持参してください(ピアノを除く)。

【コントラバス】【箏】の志願者が本学の楽器使用を希望する場合は、願書の楽器貸出希望欄に記入してください。

④実技試験の伴奏について

(声楽・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォーン・トランペット・トロンボーン・テューバ・ホルン・ユーフォニウム・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス)

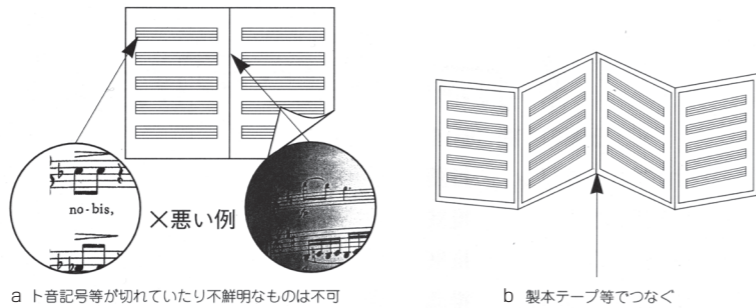
(1)伴奏譜について

願書提出時に願書類と一緒に送付してください。移調して演奏する場合は移調した譜面を提出してください。

※全面鮮明な見やすい譜面を製本テープ等でつなぎ屏風状にしたものを用意してください。不備のある場合は再度提出を求めます。

- a.全面、鮮明な楽譜のコピーを用意する。
- b.各頁を製本テープ等でつなぎ屏風状に折りたたむ。

演奏の途中をカットする場合や、最後まで演奏しない場合は伴奏譜にその旨を記入してください。



a ト音記号等が切れていたり不鮮明なものは不可 b 製本テープ等でつなぐ

【カット例】



(2)伴奏は本学の担当者が行います。

(3)伴奏付きの曲は、必ず伴奏付きで演奏してください。

⑤練習室の貸出について

音楽専攻の試験日時に合わせ、練習室の貸出(無料)を行います。希望者は本学事務室窓口でお申込みください。

なお、電話等による事前の予約は受け付けておりません。

※希望者多数の場合、アップライトピアノ練習室の使用になりますのでご了承ください。

※申込受付時間、貸出時間は変更になる場合もあります。

入試種別	試験日	申込受付時間	貸出時間
総合型BⅠ期 学校推薦型 社会人Ⅰ期	2025年11月23日(日)	8:30~14:30	8:30~15:00
総合型BⅡ期 一般A 社会人Ⅱ期	2026年 2月 8日(日)	8:30~14:30	8:30~15:00
総合型BⅢ期 一般B 社会人Ⅲ期	2026年 3月20日(金)	8:30~14:30	8:30~15:00

7 受験方法について

希望者はオンライン受験が可能です。

①演奏動画の撮影・提出について

- ・専修楽器ごとの課題曲等は、来校受験の場合と同様です。15ページを参照してください。
 - ・演奏時の演奏者の顔が判別でき、手元等がよく見えるように撮影すること。
 - ・撮影は通して行うこと。複数回に分けて撮影したものを合成する等、動画の編集・加工は不可。
- ※動画撮影時の詳しい注意事項や、動画提出フォームのURLは、オンライン受験選択者にお知らせします。

②楽典・聴音、面接について

ZoomまたはGoogle Meetを利用した実施を予定しています。

8 合格発表 (選考結果通知の発送)

合格にかかわらず、受験した全員に選考結果通知を所定の期日に本人宛書留速達で発送します。合格者には、入学手続書類を同封します。

※通知が届くのは発送から1~2日後です。

9 入学手続 (詳細は合格者手続書類を参照してください。)

(1)方法

合格者は納入金を銀行に振り込んだ後、下記の手続書類を本学教学課入試係宛に郵送してください(所定締切日必着)。

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1 桐朋学園芸術短期大学 教学課入試係

※書類提出時は、封筒に専攻、氏名、受験番号、書類名を必ず記入してください。

(2)手続書類

- ①住民票(入学者本人のもの)
- ②納入金の振込受付証明書(本学所定用紙)
- ③学生カード(本学所定用紙)
- ④主科実技担当教員希望調査票(本学所定用紙)

※2026年3月高等学校卒業見込者は、上記のほか「卒業証明書」の提出が必要です。卒業式が終わり次第、教学課入試係宛に郵送してください。

対象年齢の方には、「長期履修制度説明会」に関するお知らせをお送りします。説明会への参加を希望する方は、左記手続書類と共に、「長期履修制度説明会申込書」を同封してご提出願います。詳細については、教学課入試係までお問い合わせください。

(3)期間

合格者は、各入学手続締切日までに上記必要書類を郵送必着でお送りください。

期間内に入学手続を完了されない場合は辞退したものとみなし、入学資格を取り消しますので、十分に注意してください。

(4)納入金

参考 2025年度学費納入一覧表(2026年度学費については改定する場合があります)

区分	1年			2年		
	年額合計	入学手続時	後期分(9月)	年額合計	前期分(4月)	後期分(9月)
入学金	420,000	420,000	—	—	—	—
施設拡充費	170,000	170,000	—	—	—	—
授業料	1,132,000	566,000	566,000	1,132,000	566,000	566,000
施設維持費	80,000	40,000	40,000	80,000	40,000	40,000
学生諸費	32,000	16,000	16,000	32,000	16,000	16,000
演習実習費	45,000	22,500	22,500	45,000	22,500	22,500
教材費	6,500	6,500	—	—	—	—
学生会入会金	2,000	2,000	—	—	—	—
学生会費	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—
同窓会永会費	—	—	—	15,000	—	15,000
防災用品費	3,000	3,000	—	—	—	—
合計	1,892,500	1,248,000	644,500	1,306,000	646,500	659,500

総合型選抜A・BⅠ期、学校推薦型選抜、社会人選抜Ⅰ期合格者の入学手続時に必要な納入金額は、入学金および施設拡充費の合計額(590,000円)となります。本来の入学手続時納入金との差額(658,000円)は、2026年1月5日(月)~30日(金)までにお支払いください。詳細については、合格者に個別に書面でご案内します。

(5)納入金の返還について

一般選抜A・Bおよび社会人選抜Ⅱ期・Ⅲ期について入学手続を完了した者のうち、所定の期限までに入学辞退の申し出があり、所定の手続をとった場合のみ、入学手続納入金のうち入学金以外の納入金を返還します。

①入学辞退の申し出方法

入学辞退届用紙は本学事務室にあります。事前に教学課入試係までご連絡のうえ、印鑑、納入金の領収書、返還金振込先銀行口座の控えを持参してください。

9:00~16:00(平日のみ)に原則として本学事務室窓口のみにて受け付けます。

※桐朋学園大学音楽学部合格、「入学許可証」の写しを提出された方には、入学金を含めた納入金を返還します。

②入学辞退の申し出期限

2026年3月31日(火)12:00まで

10 音楽専攻Q&A

Q 音楽専攻を受験するのに、実技ではどのくらいのレベルが必要ですか。

A 実際の演奏を聴かずに回答するのは難しいところがありますが、実技試験では、自分の力に合った曲をきちんと勉強したことがわかる演奏が望ましいです。無理に背伸びをするより、基礎練習もしっかり続けながら積み上げていきましょう。ぜひ、まずはオープンキャンパスなどに参加し、実技診断を受講してみてください。あなたの演奏を聴いて、今後の学びのポイントや入試までにクリアすべき課題などをアドバイスします。また、夏期・冬期の講習会でも、模擬試験(実技・聴音)や実技レッスン、個別相談を受けることができます。

Q 社会人は総合型選抜Aを受験できますか。

A できます。総合型選抜Aの試験科目は「面接・書類審査」ですが、オープンキャンパス等で行われる「初心者のためのソルフェージュ講座」「実技診断」、あるいは夏期・冬期講習会で行われる「実技模擬試験」「聴音・ソルフェージュ授業」に参加することが出願資格となりますので、ご注意ください。社会人選抜で受験する場合とは、試験科目のほか、提出書類にも違いがありますので、不明な点は教学課入試係までご連絡ください。

Q 音楽歴がまだ浅いのですが、大丈夫でしょうか。

A 小さい頃から続けている人、中学や高校の吹奏楽部で楽器と出会った人、大人になってから始めた人、ブランクがある人……、学生の音楽歴はさまざまです。多彩な個性や経験をもった人たちが集まる桐朋だからこそ、小さなキャンパスに閉じこめきれない大きな音楽の出会いがあるのだと思います。

Q ソルフェージュや楽典に自信がありません。

A ソルフェージュの授業は、学生の習熟度別にクラス分けをして行います。楽典に関しては、入学後すぐに始まる楽式、和声など音楽理論系の授業を習得するためにも、入学までに十分に勉強しておくことが望まれますが、初心者の方でも段階的に学んでいけるように配慮した授業を計画しています。なお、入試合格者の方には、入学前までに知っておいていただきたい「楽典」の内容をテキストにまとめたものを差し上げますので、自宅学習の参考にしてください。また、オープンキャンパスや冬期講習会で、ソルフェージュ等の事前指導の時間も設けていますので、入学後の不安な点については、こうした機会を利用してご相談ください。

Q ピアノが弾けなくても受験できますか。

A ピアノ専修での受験でなければ入学試験にピアノは課されませんので受験できます。まったく弾けなくても、入学後に個人レッスンで学ぶことができます。

Q 海外研修はありますか。

A 例年8月～9月に2週間ほど希望者を対象に実施しています。これまでに、ドイツ、ハンガリー、ポーランド、イギリス、アメリカの音楽大学で研修を行っています。現役の教授陣によるレッスンを受けられるほか、コンサートやオペラ鑑賞、音楽家ゆかりの地を訪ねるなど、教室だけでは得られない音楽経験を深めることができます。海外研修をきっかけに、卒業後、留学して研鑽を積む学生も増えています。

※社会情勢等により実施を見合わせる場合もあります。

Q 定期演奏会や学内演奏会の出演者はどのように決められますか。

A 学内演奏会は実技試験の結果を重視して選出します。11月に開催される定期演奏会については、7月下旬頃に専任教員のほかレッスン指導者を審査員とするオーディションを行い、その結果によって決められます。

人前で演奏することが音楽を学ぶうえで重要であるとの考えから、南会津教育委員会と連携して行っている南会津アウトリーチや学外からの演奏依頼については、日頃の研鑽の様子から判断し、在学生に依頼して演奏する機会を多くもてるように配慮しています。

Q 卒業後の進路状況はどのようなものですか。

A 直接音楽と関係のない一般企業へ就職する学生もいますが、個人指導者、教員、音楽教室の講師など、音楽にかかわる仕事をしながら演奏活動を続ける卒業生が多いです。最近では本科2年を終えてから、さらに演奏技術をみがくために専攻科へ進学する学生が増えています。専攻科修了後、さらに研鑽を深めたいと希望する学生(または卒業生)のために研究生制度を設けています。学位授与機構の認定を受け、専攻科で「学士」の学位取得が可能になったことで、大学院進学も目指せるようになりました。

また、音楽専攻卒業生による「桐の音」という同窓会組織があり、卒業生が開催する演奏会、勉強会をはじめ有益な情報を随時発信しています。